

平期決算

過去最高

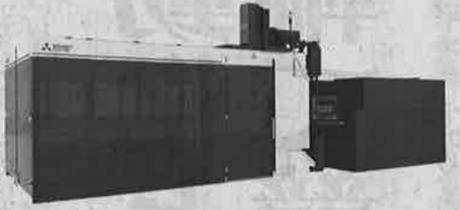
に、日本国内市場も含めて今後もアーク溶接ロボット・マテハンロボット、溶接機（溶接電源）・周辺機器・システムの開発、製品ラインアップの充実を注力していく」とし、「来年7月に東京で開催される国際ウエルディングショーでは、それらダイヘンならではの最新技術・新製品を発表する予定であり、大いに期待していたきたい」と語り続けた。

CFRPを高品位に切断

三菱電機 炭酸ガスレーザー加工機

三菱電機はこのほど、自動車などに使用される軽量・高強度の炭素繊維強化プラスチック（CFRP）用炭酸ガス3次元レーザー加工機「CVシリーズ」2機種を新発売した。炭酸ガスレーザー加工機に統合した炭酸ガスレーザー発振器と独自の加工ヘッドを搭載し、CFRP製品の高品位加工を実現すること、これまでの工法では困難だったCFRP製品の量産化に貢献する。

近年、自動車業界では、炭酸ガス排出量削減や燃費向上、走行距離延長に向けた軽量化などが求められており、新しい材料として軽量かつ高強度なCFRPの需要が拡大している。一方で、既存の技術でのCFRPの加工には、加工装置のラ

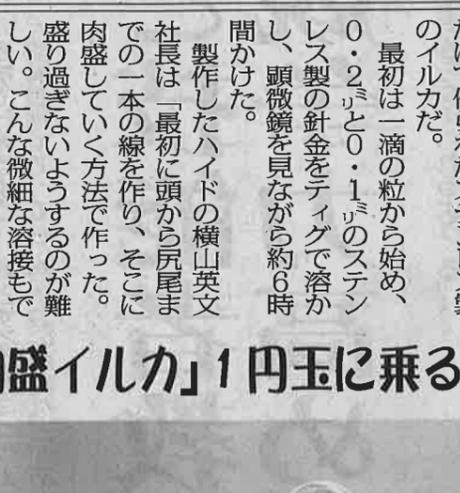


3次元レーザー加工機 ML3122CV-12XM

工ヘッドを搭載した同レーザー加工機を開発し、力を入れていく」とし、「来年7月に東京で開催される国際ウエルディングショーでは、それらダイヘンならではの最新技術・新製品を発表する予定であり、大いに期待していたきたい」と語り続けた。

同社では今回、これらのニーズに応えるため、長年蓄積してきたレーザー加工の技術・ノウハウを生かし、発振器と増幅器を同一筐体に統合した炭酸ガスレーザー発振器と独自の加工ヘッドを搭載し、加工経路の修正を加工機上で可能とすることで、段取りなどの作業効率を向上し、VIoTを活用した同社リモートサービス「iQ Care Remote U」により、発振器の状態や稼働状況の遠隔監視・予防保全を可能とし、効率的な生産や保守作業を支援し、加工コストを削減し、粉じんなどによる作業環境への影響を低減し、加工機を

1円玉に載るのは肉盛溶接だけで作られたステンレス製のイルカだ。最初は一滴の粒から始め、0.2ミリのステンレス製の針金をティグで溶かし、顕微鏡を見ながら約6時間かけた。



1円玉より小さなイルカ（キーホルダーは市販品）

機種は平板加工最大ワーク寸法1520×1320の「ML1515CV-12XM」と同3100×2000の「ML3122CV-12XM」の2機まで。

消耗材の一体化に成功

ハイパー台アーク溶接機

米切断機メーカーのハイパーサーブはこのほど、消耗材を一体化し、トーチ部で電流調整が行える新型のエアプラズマ切断機「POWERMAX SYN C-1」を発売した。最大の特徴は、これまで5つに分かれていた消耗材を一体型にしたこと。これにより、切断作業前の消耗材組立作業が不要になり、作業時間が大幅に短縮でき

る。切断・ガウジンなど用途別に4色に分けてもいる。製品寿命は2倍になった。この一体型カートリッジは、アーク発生時などに切断に関わる各種データが採取できるようになっている。スマートフォンにデータを転送して履歴として残せる。またトーチをにぎる部分に電源調整ボタンを取り付けており、電流調整のために電源装置に戻る必要がなくなった。作業の効率化につながる。電源装置の操作画面はタッチパネル式。ガウジン機も同時発売しており、主に厚板業界向けに売り込む。



作業幅広げる2種の粒度

日本レヂボン 研削・研磨砥石

日本レヂボン（大阪府西区、村居浩之社長）はこのほど、研削・研磨用として「スーパーレヂテクマックス（SRT-X）」に、粒度60と80の2種類を新たに追加した。従来の粒度36のみに加え、追加したのが粒度の追加により、中仕上げ工程など作業の幅が広がった。同品は研削力と当りの柔らかさを両立した研削・研磨用として「スーパーレヂテクマックス」に、ワンタッチと交換システム「X-LOCKシステム」の機能を搭載したものである。主な用途は一般鋼、9まで。

「FIBERGRAPHER」は、当社と国内発振器メーカーが共同開発した発振器を搭載しており、DBCファイバーレーザーの性能を最大限に発揮するものとして設計した。最新技術の結果により、これまでレーザー切断が困難とされていた

新型ファイバーレーザー切断機

公開前から引き合い増加

「FIBERGRAPHER」は、当社と国内発振器メーカーが共同開発した発振器を搭載しており、DBCファイバーレーザーの性能を最大限に発揮するものとして設計した。最新技術の結果により、これまでレーザー切断が困難とされていた

位モデルファイバーレーザー切断機「FIBERGRAPHER 3512Zero」は、RGRAPHER 3512Zeroとあわせて、C材の板厚25mmの切断に、すでに40台以上の引き合いが来ており、フェア後にさらに増えることが予想されている。そこで、DBC用8

顧客層としては、炭酸ガスレーザー切断機を使用している厚板シャクリンク関連の顧客が増えて対象となる。また、形状が制限された、ステンレス鋼材の切断が可能のため、仕事の幅を広げることができている。

「FIBERGRAPHER 3512Zero」で12月16・17日にSUS304（板厚30mm）切断とSUS400（板厚9mm）高速窒素切断の9mm高速窒素切断の実演を行うのでフェア会場でご覧いただけます。当社では次の展開を見据えたファイバーレーザーの研究開発を進めており、顧客の発展に貢献するために今後ともグループ企業一丸となり事業を展開していく方針だ。

技術と信頼で未来を拓く

各種高圧ガス・溶接機材販売
溶接建設機械工具レンタルのことなら
株式会社京新へお任せください。

<https://www.k-kyoshin.co.jp>

株式会社 京新

東京都江戸川区一之江 6-7-3
TEL 03-3653-9121 FAX 03-3653-9124

AES レンタル 溶接機器

サブマージアーク溶接機
ターニングロール
CO2-MAG 溶接機
TIG 溶接機
ボジショ

株式会社 旭ウエルデックス

本社・工場 〒590-0908 大阪府堺市堺区匠町1-7-5
TEL.072-226-2121
FAX.072-226-2122 <http://www.asahiwel.co.jp/>

KOIKE 最新型 DBC 発振器搭載ファイバーレーザー切断機

FIBERTEX Zero Series

厚板ステンレスの溶接焼け取り用電解液新登場!

「おかげさまで40年」

厚年にわたる待望の夢 実現 “スーパー#D&F”